

2019年8月17～19日

世論調査（共同、時事）、埼玉県知事選情勢

自衛隊の中東派遣に反対 57% 日韓関係 62%が懸念、共同通信

2019/8/18 19:27 (JST)共同通信社



ホルムズ海峡の衛星写真（ゲッティイ=共同）

共同通信社が17、18両日に実施した全国電話世論調査によると、中東・ホルムズ海峡の安全確保に向けた米主導の有志連合構想を巡り、日本が自衛隊を「派遣すべきではない」との回答が57.1%に上った。「派遣すべきだ」は28.2%。今後の日韓関係を「懸念している」と答えた人は62.4%、「懸念していない」は32.4%だった。安倍内閣の支持率は50.3%で、7月の前回調査48.6%から1.7ポイント増えた。不支持率は34.6%。

10月に消費税率を10%へ引き上げる政府方針に反対の回答は51.3%（前回55.9%）、賛成は43.3%（39.8%）だった。

れいわが倍増、政党支持率 共産に並ぶ4.3%

2019/8/19 01:30 (JST)共同通信社



れいわ新選組から参院選に出馬し、

初当選した木村英子氏（左）と山本太郎代表

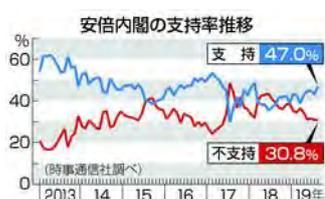
共同通信の世論調査で、れいわ新選組の政党支持率が4.3%となり、参院選結果を受けて実施した7月の前回調査から2.1ポイント増えた。野党では、第1党の立憲民主党に次ぐ支持率で、共産党に並んだ。若者の支持が目立った。

れいわの支持層を年代別で見ると、若年層(30代以下)が7.4%で、中年層(40～50代)は4.6%、高年層(60代以上)は1.9%だった。男女別では、男性が4.1%、女性が4.6%となった。

れいわと同様に参院選で政党要件を満たしたNHKから国民を守る党の支持率は0.3ポイント増の1.3%だった。

内閣支持増4.7%＝自民総裁4選、反対5割一時世論調査

時事通信 2019年08月16日 17時01分



時事通信が9～12日に実施した8月の世論調査で、安倍内閣の支持率は前月比3.9ポイント増の47.0%、不支持率は同0.2ポイント減の30.8%だった。韓国向けの輸出管理を強化した措置や、ハンセン病患者家族をめぐる裁判で控訴を見送り謝罪した政府対応が評価されたとみられる。

2021年9月に切れる安倍晋三首相の自民党総裁任期に関し、党則を改正して総裁連続4選を可能にすることについて賛否を聞いたところ、「反対」が49.5%に上り、「賛成」は27.7%にとどまった。「どちらとも言えない・分からない」は22.8%だった。

自民党支持層に限ると、「賛成」45.3%、「反対」37.5%。立憲民主、国民民主、共産各党などの支持層では「反対」が7～8割に達した。

	8月	7月	6月	8月	7月	6月	
自民党	28.0	25.6	27.7	共産党	2.1	2.8	1.8
立憲民主党	5.8	3.9	3.3	社民党	0.4	0.3	0.3
国民民主党	0.6	0.6	0.6	れいわ新選組	1.0	—	—
公明党	4.1	4.1	2.6	NHKから国民を守る党	0.4	—	—
日本維新の会	2.2	1.8	1.2	支持なし	53.4	58.3	59.4

内閣支持の理由（複数回答）は、多い順に「他に適当な人がいない」22.9%、「リーダーシップがある」14.0%、「首相を信頼する」9.1%など。支持しない理由（同）は、「首相を信頼できない」16.3%、「期待が持てない」11.5%、「政策が駄目」9.9%などだった。

政党支持率は、自民党が前月比2.4ポイント増の28.0%、立憲民主党も1.9ポイント増の5.8%。以下、公明党4.1%、日本維新の会2.2%、共産党2.1%、国民民主党0.6%など。先月の参院選で政党要件を満たしたれいわ新選組は1.0%、NHKから国民を守る党は0.4%。「支持政党なし」は4.9ポイント減の53.4%だった。

調査は全国の18歳以上の男女2000人を対象に個別面接方式で実施。有効回収率は62.4%。

安倍政権で改憲「反対」41%＝慎重論が顕在化一時世論調査

時事通信 2019年08月17日 08時05分

時事通信の8月の世論調査で、安倍政権下での憲法改正について聞いたところ、「反対」が41.3%で、「賛成」の32.1%を上回った。「どちらとも言えない・分からない」は26.7%だった。参院選前の7月調査では、選挙後に議論を進めることに「賛成」が多かったが、性急な改憲には慎重な世論が根強いことがうかがえる結果となった。

安倍晋三首相は目標に掲げる2020年の改正憲法施行に向け、与野党に衆参両院の憲法審査会での議論を呼び掛けている。7月調査では参院選後に改憲議論を進めることに「賛成」は41.2%で、「反対」は26.3%だった。

今回調査では、自民党の改憲案にある憲法9条への自衛隊明記について、「賛成」35.3%で、「反対」36.1%と拮抗（き

っこう)した。

自衛隊明記に「賛成」と回答した人に対し、国会が初めて発議する改憲案に9条改正を盛り込むべきかどうかを尋ねたところ、「盛り込むべきだ」が57.5%、「こだわる必要はない」が37.3%となった。

調査は9～12日に全国の18歳以上の男女2000人を対象に個別面接方式で実施。有効回収率は62.4%。

青島、大野氏が激しく競る 与野党対決の埼玉県知事選

2019/8/18 19:31 (JST)共同通信社

共同通信社は16～18日、任期満了に伴う埼玉県知事選(25日投開票)に関し電話調査を行い、取材を加味して情勢を探った。自民、公明両党が推薦するスポーツライター青島健太氏(61)と、立憲民主党など4野党が支援する元防衛政務官大野元裕氏(55)が激しく競り合う。NHKから国民を守る党の医師浜田聡氏(42)、元会社員桜井志津江氏(63)、元高校教諭武田信弘氏(65)は厳しい。いずれも新人で、浜田氏以外は無所属。

4割台半ばが投票先を未定とし、情勢は変化する可能性がある。先の参院選後、初の与野党対決型の知事選となった。

青島氏僅差でリード 大野氏が激しく追う 与野党激戦 埼玉知事選情勢

毎日新聞 2019年8月18日 21時20分(最終更新 8月18日 21時38分)



JRさいたま新都心駅構内に掲

示された選挙啓発ポスター。漫画「翔んで埼玉」のキャラクターを起用している＝さいたま市大宮区で2019年8月9日午前11時40分、畠山高撮影

25日投開票の埼玉県知事選について、毎日新聞社は16～18日に県内の有権者を対象に電話世論調査を実施し、取材結果も加味して中盤情勢を探った。16年ぶりに新人同士の争いとなった選挙戦は、自民、公明が推薦するスポーツライターの青島健太氏(61)が、上田清司知事と立憲民主、国民民主、共産、社民の各県組織などが支援する元参院議員の大野元裕氏(55)を僅差でリード。大野氏が激しく追う展開となっている。他に出馬している3氏は支持に広がりやを欠く。ただし5割弱が投票先を決めておらず、終盤に情勢が変わる可能性がある。

調査は毎日新聞社、共同通信社など4社が合同で実施し、各社が共通のデータを独自に分析した。コンピューターで無作為に発生させた番号に電話をかける方法で行い、実際に有権者がいる世帯にかかったのは1451件で、うち1015人から回答を得た。

選挙戦は、4期16年続いた上田県政の継承を巡り、事実上の与野党対決となった。上田知事と対立してきた自民が推す青島氏は、自民支持層と公明支持層の6割を固め、さらに浸透を図る。

大野氏は立憲、国民、共産と、れいわ新選組の各支持層の6～7割を固め、無党派層の3割も支持。ただし、30歳未満の若年層の支持が伸び悩んでいる。

また、上田県政について「評価する」と答えた人のうち、青島氏の支持者と大野氏の支持者はいずれも3割で同程度だった。大野氏は「上田県政の継承」を訴えているが、上田県政を肯定的に評価する層の支持を集め切れていない様子が見え始める。

【畠山高】